

# 中小企業ぎふ

Vol.677

2022年3月25日 隔月25日発行

岐阜県中小企業団体中央会

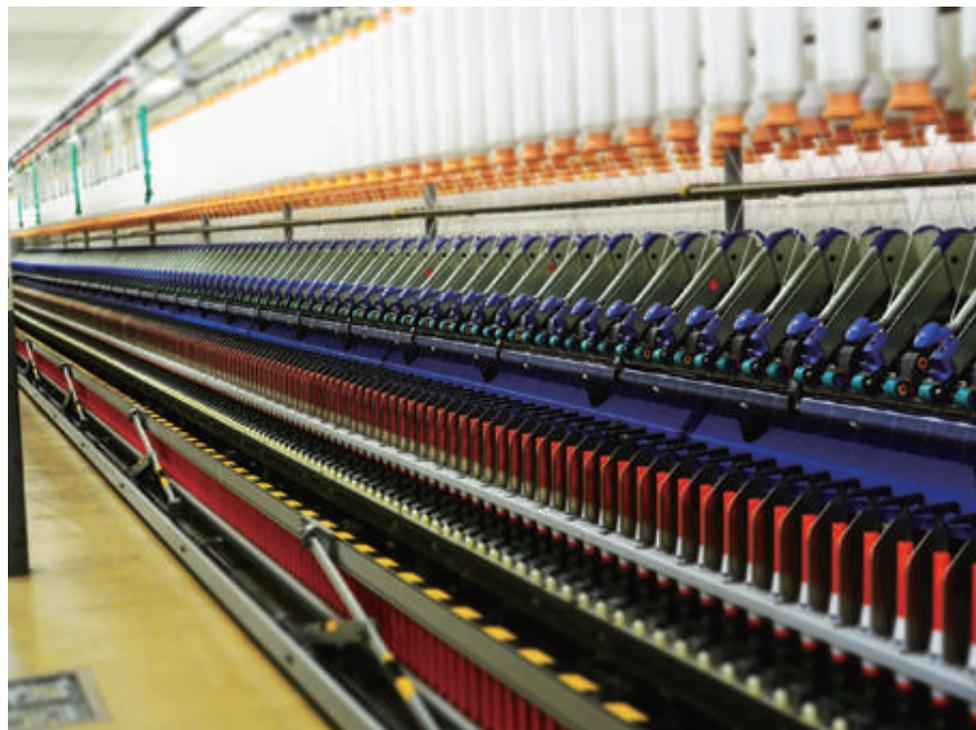
岐阜市数田南5丁目14番53号  
OKBふれあい会館9階

☎ 058-277-1100

HP <http://www.chuokai-gifu.or.jp>

**連携の力で無限の可能性にチャレンジ!**

中央会は、「ウイズ・コロナ時代」の組合・中小企業の挑戦を応援します



長谷虎紡績(株)本社工場内精紡機



創業当時の工場内

## 組合紹介 2~3

岐阜県印刷工業組合

## クローズアップ企業 4~5

岐阜県毛織工業協同組合 組合員  
「長谷虎紡績株式会社」

## 専門家コラム

「今をどう見る~生き残りツールとしての情報」 6~7

## 中央会の活動 8~11

- ・業種別情報交換会を開催
- ・人材確保・定着セミナーを開催
- ・事業承継セミナーを開催
- ・組合事務局スキルアップ講座を開催
- ・事業継続力強化計画セミナーを開催
- ・外国人技能実習制度適正化講習会を開催
- ・組合青年部強化研修会を開催
- ・女性部等活動支援研修会を開催
- ・G-Club 商談会事前対策セミナー開催

## 組合等の活動 12

- ・奥美濃カレー(協)  
オリジナルキャラクター「奥美濃カレー妖怪」制作
- ・各組合がインボイス制度対策セミナーを開催  
インボイス制度に係る専門家派遣事業のご案内

## 決算関係書類提出の流れ 13

## 景況レポート 14~15

## 全国の先進組合事例 16

- ・第一精密工業(協)

## 組合イベント情報紹介 16

- ・岐阜電気工事(協)

## インフォメーション 17

- ・中央会異動のお知らせ
- ・中央会日誌
- ・中央会 職員コラム

## 中央会 自動車産業EV化対応事業、 バックオフィス業務等における

DX導入に係る支援のお知らせ 18

# 組合 紹介

## こんな活動をしています！

本会は、多種多様な業種・業態の組合等が会員となっており、これが本会の特徴でもあります。各組合がその特徴を活かし日々活動を続けていますので、皆様の仲間を紹介します。



### 岐阜県印刷工業組合

- 理事長 大洞 正和
- 組合員数 89名
- 設立年月 1958年7月
- 住所 岐阜市菅生2丁目6番15号
- TEL 058-295-4831

### 業界発展のために教育研修事業を実施

#### ◆組合の歴史・活動

#### ■調整組合での活動を経て、昭和33年に設立



大洞理事長

昭和30年に、中小企業安定法に基づいて岐阜県印刷工業調整組合が設立され、その後「中小企業団体の組織に関する法律」の施行に伴って昭和33年に岐阜県印刷工業組合に移行しました。

印刷料金の不当競争を是正し、印刷料金の適正化、企業の合理化、技術の向上、

設備の近代化による印刷文化の向上発展が目的でした。

当組合は非出資商工組合であるため、共同経済事業は行わず、教育研修事業を柱として活動をしています。

県下に9つの支部を置き、組織活性委員会、経営革新・マーケティング委員会、環境・労務委員会、教育・研修委員会、広報専門委員会、不公正取引対策委員会、福利厚生委員会、事業委員会の8つの委員会が、それぞれの役割に応じて運営されています。

#### ■柱の教育研修事業

当組合の柱の事業である教育研修事業では、新入社員研修や技能検定オフセット印刷作業・DTP作業等の印刷技術向上、労務関連法令や環境問題への対応など、組合員のニーズに応じて様々な研修を実施しています。教育研修事業は、組織活性委員会、経営革新・マーケティング委員会、環境・労務委員会、教育・研修委員会、事業委員会が企画を担当します。

新入社員研修に関しては、初めて実施したのは昭和56年で、毎年新入社員が入社してすぐの4月と、その後にフォローアップのための10月の2回実施しています。4月の研修会では、2日間にわたり印刷業に関連する基礎知識を習得

し、新入社員の早期の戦力化を図ります。10月のフォローアップ研修では、入社後半年ほどが経過し、業務にも慣れ、戦力として1人で仕事を任されるようになる中で、上司や同僚、顧客とのコミュニケーション向上を図る研修や営業力向上を図ることを目的としています。

当組合の組合員企業の8割は、従業員規模が10人以下となっており、組合員の多くは、新規採用しても自社で新入社員研修を実施していない状況にあります。そのため、組合が主体となって行う新入社員研修には高いニーズがあります。



新入社員研修の様子

#### ■業界の認知度向上を図るポスターグランプリ

愛知・岐阜・三重・石川・富山県の各印刷工業組合及び愛知県印刷協同組合でポスターグランプリを開催しており、今年度で12回目となります。当組合の事業委員会が企画に携わっています。事業委員会は、青年部的な役割を持っており、若手が中心の組織です。



ポスターグランプリinぎふ

ポスターグランプリは、愛知・岐阜・三重・石川・富山県在住、または同5県内の会社、大学、専門学校、高等学校に在籍している個人からテーマに沿った作品を募集して行うコンペティションです。

ポスターグランプリを通して、印刷業界やグラフィック業界の認知度向上だけではなく、1枚のポスターで人に何かを伝える難しさや媒体としてのポスターの魅力を発信できたらと考えています。

当組合では、ポスターグランプリと併せて、岐阜市内で受賞作品等の展示を行う「ポスターグランプリinぎふ」を開催しています。今年度開催の際に、第1回の受賞者の方が偶然立ち寄られたと担当委員長から報告を受けました。

その方は、当時大学4年生で、今もデザインに携わる仕事をしており、本グランプリの受賞が自信となり、人生を変えるきっかけになったと話されていました。

業界PRとして開催している本事業が、影響力を持って機能していることを実感することができ、大変うれしく思っています。

#### ■機関誌「岐阜の印刷」を発行

組合活動の報告や技術・経営等に関する情報、組合員の紹介等を掲載する機関誌「岐阜の印刷」を組合員、関係

機関向けに毎月発行しています。令和3年7月で700号を迎えました。機関誌の発行は、広報専門委員会が担当しています。

当組合は、岐阜県全域を地区とするため、普段あまり面識のない組合員が多くなります。機関誌で紹介することで、お互いを知る機会や接点を持つきっかけになればと考えています。

## ◆組合が目指す方向性とは

### ■業界を挙げてDX活用を推進

印刷業は、基本的に受注の業界であるため、長らくマーケティングの概念がなかったことが課題の一つです。

コロナ禍で展示会がなくなる等、売る手段が絶たれている状況でもあります。今後は、広く自社を知ってもらうために、HPの新設やSNSによる情報発信が必要であると考えています。

また、印刷業界に限らず、昨今あらゆる業界で取り沙汰

されているDX(デジタルトランスフォーメーション)やSDGsにも組合として取り組んでいけたらと考えています。

DXに関しては、印刷市場が縮小する中で、当組合の上部団体にあたる全日本印刷工業組合連合会が印刷DX推進プロジェクトをスタートし、「印刷業界DXシステム」を開発しました。このシステムは、組合員間の受発注システム、経営の見える化のための業務システム、生産性向上のための生産管理システムの3つのシステムを連携させたものです。このシステムの活用により、自社の強みを更に強化し、苦手な分野は生産協調で補うことができます。当組合でも、DXに関する研修会を開催しており、引き続きDX活用の有効性について情報を発信していけたらと考えています。

SDGsに関しては、今年度の「ポスターグランプリinぎふ」の来場者にバナナペーパーを使用したオリジナルしおりを配布しました。研修会の開催だけではなく、組合事業にSDGsを取り入れることで、その大切さを組合員へ促していけたらと考えています。

## 業界豆知識

### 日本札に詰め込まれた高度な印刷技術

日本札(日本銀行券)には、印刷技術により様々な偽造防止技術が施されています。

今回は、日本札に詰め込まれた高度な印刷技術をご紹介します。実際にお手元にお札をご用意の上、ご覧ください。

#### 「さわって」わかる偽造防止技術

##### ①深凹版印刷

お札の肖像部分などの主な図柄は、凹版印刷という印刷方式が使われています。料額や日本銀行券という文字には、特にインキを高く盛り上げる「深凹版印刷」が使われ、触るとざらざらした感じがあります。

##### ②識別マーク(深凹版印刷)

目の不自由な方が指で触って識別できるように、深凹版印刷によりざらつきを作っています。券種識別を行いやすくするため、識別マークは、券種によって形状が異なります。

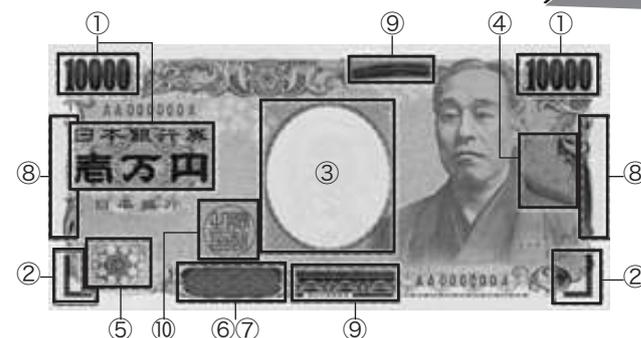
#### 「すかして」わかる偽造防止技術

##### ③すき入れ(白黒すかし)

すき入れは、紙の厚さを変えることによって表現する偽造防止技術で、「すかし」とも言われます。日本のすき入れは、白すかしと黒すかしを組み合わせ、濃淡の差を美しく表現できます。

##### ④すき入れパーパターン

用紙に棒状のすき入れを施したもので、透かして見ると、一万円券は「3本」、五千円券は「2本」、千円券は「1本」の縦棒が見えます。



#### 「傾けて」わかる偽造防止技術

##### ⑤ホログラム

角度を変えて見ることにより、額面数字、日本銀行の「日」の文字をデザイン化したもの及び桜の画像が見えます。

##### ⑥潜像模様

お札を傾けると、表面には額面数字の「10000」、「5000」、「1000」、「2000」が、裏面には「NIPPON」の文字が浮かび上がって見えます。

##### ⑦潜像パール模様

お札を傾けると、角度によって表左下にパール印刷による「千円」の文字と、潜像模様による「1000」の数字がそれぞれ浮かび上がります。

##### ⑧パールインキ

正面から見ると見えませんが、お札を傾けると、お札の左右両端の中央部にピンク色の光沢が見えます。

#### 「道具で」わかる偽造防止技術

##### ⑨マイクロ文字

カラーコピー機では再現が困難な微小な文字で、「NIPPONGINKO」というマイクロ文字が印刷されています。

##### ⑩特殊発光インキ

紫外線を当てると、表面の印章(日本銀行総裁之印)や表裏面の模様の一部が発光します。

出典:「偽造防止技術～現在発行されているお札～」  
(国立印刷局HP<https://www.npb.go.jp/ja/intro/gizou/genzai.html>)  
を加工して使用

※組合紹介への掲載希望がございましたら、企画振興課までお知らせください。

# クローズアップ企業

岐阜県毛織工業協同組合

## 長谷虎紡績株式会社

《企業概要》

所在地：羽島市江吉良町197-1 電話：058-392-2121

代表：代表取締役社長 長谷 享治

主な事業：各種繊維製品ならびにカーペットの製造加工および販売



本社外観

### 次なる時代へ環境配慮型経営を推進 ～素材は世界を変える～

◎ 御社のこれまでの沿革についてご紹介ください。

#### ◆創業時から受け継がれる地域との共存共栄



長谷社長  
(本社工場の精紡機の前で)

当社の歴史は、明治20年に絹紡糸を製造する長谷製糸工場として創業したところから始まります。その後、昭和22年長谷虎産業株式会社と改称、綿糸の生産を開始。昭和26年に、現在の長谷虎紡績株式会社へと改称しました。

当社は、130年を超える歴史の中で、時代に応じて事業を変革、変化させてきました。製糸から始まり、現在は、紡績だけではなく、スポーツやアウトドアシーンで着用される高機能な製品のOEMを行っています。また、インテリア事業として、ホテルやオフィス、自動車のカーペット、人工芝の生産を行っています。

創業当時である明治時代、当社が位置する岐阜県羽島市では、農業や養蚕業（※蚕を飼いで繭をとること）が盛んでしたが、都市部の仲買人に安く買い叩かれ、なかなか豊かにならない状況でした。また、製造業がないため、地元農家の子弟が親元を離れ就職しなければならないこともしばしばありました。

こうした状況を打破し、地元の農家で育てられる繭を適正な価格で買い取り農家の生活を少しでも豊かにすることや、地元を離れなければならなかった人々を雇用するため、初代である長谷虎吉が長谷製糸工場を創業しました。

創業の背景には、地域や地元民との共存共栄があったと言えます。当社は、130年以上の歴史がありますが、「繊維産業を通じて社会や人の役に立ちたい」と言う初代の思いは今もなお脈々と受け継がれています。

私は令和元年12月に5代目の社長に就任しました。就任直後に新型コロナウイルス感染症が世界的に蔓延し、前途多難なスタートとなりましたが、コロナ禍を逆風ではなく追い風と捉え、未来を見据えた事業を展開しています。

◎ 御社の特徴や方針を教えてください。

#### ◆地球を超え宇宙へ飛び出す紡績技術

紡績は、大雑把に言えば繊維を紡ぐ作業です。原料となる綿・羊毛・麻などの天然繊維や、ナイロン・エステル・アクリルなどの化学繊維等の短い繊維の束を徐々に細くしていき、撚りを加えて糸にしていく作業を紡績と言います。

繊維と言うと、衣類をイメージされる方も多くいると思いますが、産業資材として航空宇宙産業等にも使用されます。実際に当社の作った糸は、国産ロケット「H-IIロケット」や小惑星探査機「はやぶさ」にも使用されています。

ロケットに採用されるフェノール繊維「カイノール」は、耐薬品性や耐熱性に優れている一方で、脆いため糸にすることが難しい繊維でした。工夫に工夫を重ね、何とか糸にした後も、糸のムラが多く残る等の課題が多く、産業資材用途で採用されるまでには、長年の月日を要しました。プロジェクトチームを発足し、粘り強く品質の向上・安定に取り組んだ結果、平成6年の1号機から歴代全てのH-IIロケットに採用され続けています。

カイノール糸は世界唯一の技術であり、地球を超え宇宙へ飛び出す紡績技術は当社の自慢の一つです。長年培った経験と技術の裏側には、粘り強さやチャレンジ精神があると云えます。



長谷紡績(株)が紡ぐ様々な糸

#### ◆環境配慮型経営へ転換

繊維業界にとってサステナブルや環境破壊は重要な課題です。

世界で年間9千万トンの繊維が捨てられており、Tシャツ4千5百億枚分に相当します。これは日本全国民が毎日Tシャツを10枚捨てることを365日繰り返すことに匹敵します。

環境配慮やサステナブルという考え方は、企業の存続にとって不可欠なテーマであり、それに対応しなければ、5年後には当社は淘汰されてしまう危機感を抱いています。

このように感じるのは、私が平成24年に車両用カーペット事業を行う中国子会社の責任者を務めた経験からきています。

責任者を務める中で、自動車メーカーの海外生産に伴う資材調達の現地化の流れに抗えず、中国生産からの撤退を決断する経験をしました。進出当初は上手くいっていましたが、何より技術力や製品に自信がありました。しかし、事業環境の変化とともに採用されなくなり、良いモノを作るだけでは採用されない、市場に求められるモノを作らないと売れないことを痛感させられました。



精紡機

中国子会社での経験は教訓となっており、130年を超える歴史があるだろうが技術力があるだろうが、時代に即していなければ選ばれる会社にならないと感じました。

今求められていることは、環境配慮であり、環境配慮型経営へシフトしなければ、当社の未来はないと感じています。

だから、当社は環境配慮型経営へと大きく、そして強く舵を切りました。具体的には、『3080』をスローガンに、「20“30”年までに取扱い素材の“80”%以上を環境配慮型のものに置き換える」ことを目標に掲げています。環境配慮には、商品を環境配慮型に置き換えることと、製造工程を環境配慮型に転換することの二つの側面があります。また、地域も巻き込み、企業祭である「ハセトラ祭」で、羽毛リサイクルの取り組みを行っています。

### ◆パートナーとの連携による新素材開発

環境配慮型経営と合わせて力を入れているのが素材の開発です。現在、環境配慮への関心が高まっており、いずれほとんどの商材が環境配慮型になるでしょう。すると「環境配慮」だけでは競争できなくなる時代が来ます。

紡績は、様々な素材を組み合わせ一つの糸を作ることです。素材にはそれぞれに特性があり、時には欠点に作用することもあります。紡績の面白さは、素材同士が短所を補い、長所を引き出すことにあると思います。紡績は素材を自由に組み合わせ、ブレンドする技術であり、新素材の開発は当社を飛躍させるカギになると考えています。

オリジナル素材の先駆けが「光電子®」で、当社グループ企業の(株)ファーストが開発した体温域で効率よく遠赤外線をふく射する集熱保温繊維です。体温を利用して、カラダを保温する素材で、アウトドアブランドやスポーツブランドに採用いただいています。

各地のベンチャー企業との積極的な連携を進めており、スパイバー(株)が開発したクモ糸構造タンパク繊維「プリュード・プロテイン」を手掛けています。タンパク質由来であるため、環境配慮型の素材です。

他には、毛髪の百分の一から千分の一ほどの超極細繊維「ナノファイバー」の生産を行うエム・テックス(株)と共同で、スピタージュ(株)を設立しました。ナノファイバー技術を応用した新たな素材や製品開発を進めており、超極細という特徴を活かして、薄くても暖かい中綿素材の開発に取り組んでいます。

### ◎最後に御社の今後の展望、抱負をお聞かせください。

#### ◆“素材”で世界を変える!

明治20年の創業以来、私たちは「人の幸せのためのもの作り」を続けています。そして今の私たちの新たな夢は「素材で世界を変える」ことです。

繊維産業は、斜陽産業とも言われます。実際、日本の紡績設備数は1960年代と比較して98%落ち込みました。それでも私は、繊維産業が一番成長する産業だと思っています。

なぜなら、それは繊維が人に一番近いプロダクトだからです。入浴時間等の一部を除き24時間365日、人間が触れているものが、繊維以外にあるでしょうか?この繊維が今よりも快適なものになれば、私たちの生活が変わり、生活が変われば世界が変わる。世界を変えることができたら未来も変えることができます。繊維には、そんな無限の可能性が秘められています。

私たちは、多種多彩な機械を取り揃え、あらゆる素材を紡績してきました。そして、現在、画期的な素材を掘り起こし、素材で世界を変えようとしています。

私たちが紡ぐ繊維には、そんな夢と可能性があると思っています。だから素材で世界を変えられる。決して夢物語とは思っていません。

### 【組合概要】

岐阜県毛織工業協同組合

代表理事 浅野 宏治郎

(ファインテキスタイル株式会社)

羽島市竹鼻町蜂尻448

組合員数：39名

主な事業：「テキスタイル・マテリアルセンター」の運営 等



マテリアルセンター内  
(マテリアルセンターには11万点以上の素材サンプルが並ぶ)

## 今をどう見る～生き残りツールとしての情報

このコーナーでは、神戸国際大学経済学部 中村智彦教授より折々に感じておられる組合・中小企業向けの有益な情報についてご執筆いただきます。組合運営、企業経営にお役立てください。

### 社長！それ大丈夫ですか？ ～契約トラブルに巻き込まれないために～

「最近、タクシーに乗ると、脅迫観念に襲われますよ。」関西地方のある中小企業経営者は苦笑いする。タクシーに乗車して、広告動画の流れるモニターを眺めていると、コロナ禍以降、確かに「御社でもDXを」、「ネットを使った販促活動を」、「働き方改革に乗り遅れるな」と、中小企業経営者が追い立てられるような文言が並んでいる。

厳しい経済状況の中で、「企業経営の変革」が求められているのは確かだが、派手な宣伝や勧誘には注意が必要だ。宣伝広告が巷にあふれている分、トラブルも増えているようである。特に気を付けなくてはいけないのは、企業と個人の契約とは異なり、企業と企業の契約にはクーリング・オフ制度が適用されない。クーリング・オフ制度とは、契約書面を受け取った日を含め8日以内(内職・モニター商法、マルチ商法は20日以内)に書面で通知すると、無条件で申込みの撤回や契約の解除ができる法律等に基づく特別な制度だが、これは個人の場合にのみ適用され、企業には適用されない。そのため、中小企業経営者は、契約する場合に、一人の場合よりも、一層慎重になる必要があるのだ。

これまででも、どちらかというと景気が後退する局面で、中小企業の契約に関するトラブルが増加しているようだ。経営者は、悪化する景気の中で、なんとか経営を改善しようと藁をもすがる思いでいるのだが、それを利用する悪質業者も増える。今回は、そうした事例から考えてみよう。

#### ・実は古典的な手口が多い

少し前によくあったのが「紳士録」詐欺である。「あなたを当社の紳士録に掲載することが決まりました。おめでとうございます。」といった連絡が入る。優秀な中小企業の経営者として、名簿に掲載されるというのである。冷静に考えれば、公的なものでもなければ、権威があるものでもなく、単にどこかの出版社が作った本に掲載されるというだけである。そもそもそんな紳士録に名前が掲載されたからといって、何かの評価に繋がるわけではない。

それでも、中小企業経営を苦勞してやってきた人にとって、「優秀な人だけが掲載されている紳士録に掲載される」というのは、ずいぶんと魅力的に見える。

問題はここからである。「紳士録」に無料で掲載されるわけではない。掲載料やら取材費負担などといって請求してくるし、市価からはかけ離れた金額の「紳士録」の購入も求められる。さらに、掲載を断ろうとすると、なんだかんだと理由をつけ、掲載中止をする手数料を要求される。

この古典的な「紳士録」商法を知っておけば、他の商材

でもほぼ同じことだと理解できる。「選ばれました」などという虚栄心をくすぐる言葉に気を許してはいないか、掲載することで自社にはどんなメリットがあるのか、自分の知り合いの同業者や異業種の社長たちの意見を聞いてみたかなど、対応方法は、実は同じなのだ。

#### ・掲載有料の雑誌

さすがに「紳士録」はあまり聞かなくなったが、ここ20年ほど、あちこちで耳にするのは、雑誌記事への掲載だ。「そちらの会社を取材したい。経営者の方のインタビュー記事にした。」といった連絡が入る。きちんと断わらないと、あれよあれよと「とにかく一度、伺うので」という話に進んでいく。

「いらっしゃるならどうぞ、と言ったのが悪かった。指定された日になると、電話をかけてきた編集者だけではなく、ライターやカメラマン、そしてインタビュアーのためにと俳優までが付いてきた。」関西地方のある中小企業経営者は言う。「俳優といっても、少し前にはテレビでよく見かけたが、最近は、あまり見ませんねといった人。そんな約束はしていないと言ったら、逆切れして、この人たちの給料はどうすればいいのですかと言われた。」この手の「雑誌」は、市販はされておらず、雑誌の体はなしているものの、実際の宣伝広告効果はないに等しい。また、高額な費用を請求されることが多く、注意が必要だ。

行政などが募集する表彰制度や認証制度に、こうした雑誌の記事のコピーを提出してくる企業が時々いるが、残念ながら、審査する側はその雑誌の信頼度で判断する。そもそも金を支払って取材してもらった記事は、一般的に言う「タイアップ広告」となるため、あくまで広告の一種と判断されることを経営者は理解しておく方が良いでしょう。

#### ・社長の自慢話は宣伝にはならない

デジタル化は、こうした業界にも押し寄せていて、10年ほど前から盛んなのは、雑誌に代わって、テレビ番組、ラジオ番組への出演話に関するトラブルだ。東北地方のある農業法人の経営者は、「ラジオDJだという女性から電話がかかり、自分がパーソナリティーをしているラジオ番組でインタビューを受けてくれないかと言ってきた。」と話す。東北地方に取材旅行に行くので、その際に、立ち寄らせてほしいと言うのだが、どうも話がおかしいということで、詳しく聞くと、「最初は無料だと言っていたのが、今回は交通費を負担していただくだけでと言い出した。」さらに肝心のラジオ番組というのは、ネット配信している自主制作のものだということが判った。

インターネット時代になって、急速に増えてきたが、「なん

ちやって」テレビ番組やラジオ番組である。確かに人気ユーザーのネット配信は、テレビ番組などを凌ぐ勢いがあるが、それはごく一部であるし、若者向けのコンテンツが中心である。

「そもそも中小企業の経営者が出てきて、延々と自社の紹介や自分の自慢話をした動画なんて、誰が最後まで見ますか?」とある大企業の広報部の社員は笑う。

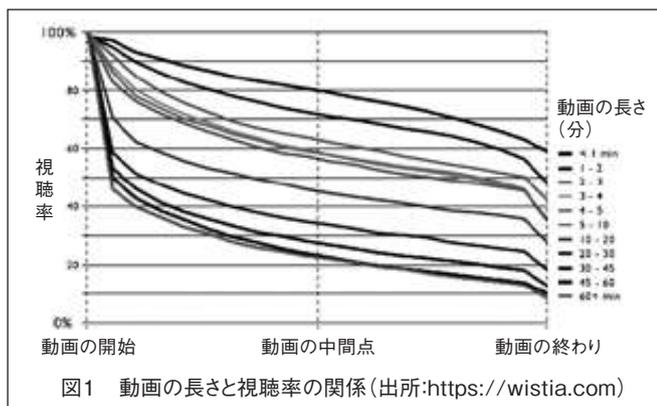
「観光関係でも、長々と名所などを見せられても、飽きてきてスキップしてしまいます。みなさんが、普段やることを、多くの人はするのです。」とこの社員は言う。まして、「優秀な企業の経営者がお話します」などという録画ビデオを、誰が見に来てくれるだろうか。冷静に考えたら、答えは判っている。

### ・動画は5分を超すと見ない人が急増する

企業紹介や製品紹介などのビデオも、注意が必要だ。図1のように、動画が長くなれば長くなるほど、見ている人は途中で視聴を止める傾向がある。特に5分以上のビデオになると、最後まで見る人は大幅に減少する。就職説明会や商品展示会などで使用するのであれば、また異なるが、ネット上で公開する際には、5分以下でないと効果が少ないとされる。

つまり、企業や商店、地域の宣伝広告を行う際に、テレビ番組を模して長時間の録画番組を作成しても、見てくれる人はほとんどいない。高額な費用をかけて、ネット配信をしても、視聴する人はほとんどいないのが実際だ。

営業トークを単純に信じないで、本当に資金を投じてそんなビデオを作成する必要があるのか冷静に考えるべきだ。若い世代はスマートフォンを駆使して、簡単なビデオなら作ってしまう。年齢層の高い経営者や従業員だけで相談せず、若い世代を入れて話し合うのが得策だ。



### ・返事を急がせる営業には注意

高齢者を対象としたオレオレ詐欺の特徴の一つが、「返事を急がせる」というのがある。人は、誰かに相談すると落ち着いて考えられる。つまり、騙す側は、誰かに相談されることを最も嫌がるのだ。

企業間の契約でも、「限定～社」、「急がないと値上げする」などと言い、契約を急がせるものには要注意だ。冒頭でも書いたように、個人の消費者とは異なり、企業間の契約にはクーリング・オフ制度が適用されないため、より慎重な判断が求められる。

### ・こういう状況だからこそ、慎重に

コロナ禍の長期化、中国など近隣国との政治的緊張、ロシアによるウクライナ侵攻など混迷を深める状況に加え、自動車の電動化による産業構造の変化など、経営者にとっては経営上の課題にいやがおうにも直面させられている。

こうした状況は、一方で悪質な業者にとっては大きなチャンスになる。普段ならば、そう簡単には信用しないようなことでも、つい耳を傾けてしまうこともあるだろう。

契約の印を押したり、サインをする前に、もう一度、組合の仲間や中央会などに相談してみよう。



図2 中小企業庁でも経営者に対して注意を喚起している



中村 智彦  
(なかむら ともひこ)

【ホームページ】 <http://monodukuri.jp/>

【常 勤】 神戸国際大学経済学部 教授

【非常勤】 関西大学商学部 非常勤講師・愛知工科大学工学部 非常勤講師

【専 門】 中小企業論・地域経済論

【略 歴】 昭和39年 東京都生まれ

昭和63年 上智大学文学部卒業

平成12年 名古屋大学大学院国際開発研究科博士課程修了 (学術博士・名古屋大学)

【活 動】 総務省地域創造力アドバイザー・京都府向日市ふるさと創生計画委員会座長

東京都北区ネスト赤羽支援機能拡充検討委員会座長・山形県川西町第5次総合計画アドバイザー  
ヤフー!ニュース <https://news.yahoo.co.jp/byline/nakamuratomohiko>

## 3業種を対象に業種別情報交換会を開催

中央会では、陶磁器組合、自動車整備関連組合、LPガス組合を対象に、業種別に組合が集まり、現状の報告、情報の共有、業界・組合が抱える課題の把握と解決を図るための情報交換会を実施した。

### ・陶磁器組合〔全1回・12月1日〕

テーマ:「陶磁器業界の今後の展望」

専門家:明治大学政治経済学部 専任教授 森下正 氏

参加組合(7組合):

岐阜県陶磁器工業協同組合連合会、岐阜県陶磁器卸商業協同組合連合会、  
岐阜県タイル商業協同組合連合会、全国タイル工業組合岐阜県支部、岐阜県窯業原料協同組合、  
岐阜県石膏型工業協同組合、丸沼釜戸鋳業協同組合



陶磁器組合対象

後継者不足等による地場産業の構造的な課題、コロナ禍によるギフト・イベント関連など多くの流通先の需要の激減等、かつてないほどの厳しい経営状況に苦しむ陶磁器業界と専門家、行政、中央会による情報交換会を開催した。

各組合より、コロナ禍による需要の激減、経営者の高齢化、後継者不足といった業界の厳しい状況について報告があった。一方で、若手を中心となって新しい発想によるイベントを実施する明るい動きも報告された。

総括として、専門家の森下氏は、「需要減少や人手不足の課題がある一方で、若手による次につながる明るい動きもある。地域ぐるみの新しい取組が必要」と話した。また、事例として複数の組合が母体となり、新潟県三条市・燕市及び周辺地域の工場を一斉に開放して行われるオープンファクトリーイベント「燕三条 工場の祭典」の紹介があった。

### ・自動車整備関連組合〔全2回・11月18日、1月13日〕

テーマ:「自動車整備関連組合の現状と課題の把握 ～需要減少時代を生き抜くための組合の役割～」

専門家:エフリンク経営サポート 代表 佐藤文隆 氏

参加組合(3組合):

岐阜県自動車電装品整備商工組合、岐阜県自動車整備商工組合、岐阜県自動車車体整備協同組合

自動車整備業界は、近年整備士養成の専門学校への入学者が大きく減少する等、若年者の採用が困難になっており、将来の人手不足が懸念される。さらに、電気自動車(EV)や先進安全装置(電子制御装置の特定整備認証制度)への対応が求められる等の課題を抱えている。

専門家の佐藤氏より、「自動車業界全体は、100年に一度の大変革期と言われ、ガソリン車から電気自動車への転換が代表的なものになるが、自動車に関連したサービスを含め急速な変化への対応が求められる」との業界を取り巻く状況について説明があった。

その後、専門家を中心に組合の状況、情報交換が行われ、各組合より、共同購買事業等の経済事業や、青年部活動等について報告がなされた。また、意見交換を通じてお互いの課題解決のために、組合及び組合員間で得意分野を活かして仕事を融通する等の連携を図ろうとする動きが見られた。

### ・LPガス組合〔全2回・11月24日、1月26日〕

テーマ:「LPガス関連組合の現状と課題の把握 ～LPガスの普及・販売促進における組合の役割～」

専門家:株式会社エス・フォース・コンサルティング 代表取締役社長 小笠原慎一 氏

参加組合(4組合):

岐阜県プロパンガス商業協同組合、白川ガス協業組合、美濃市ガス販売事業協同組合、高山米穀協業組合

LPガスは家庭用、工業用や化学原料用、自動車用等さまざまな用途があるが、オール電化・都市ガスの普及により、LPガスの需要が減退傾向にあるため、年々LPガス販売業者が減少している。

専門家の小笠原氏より、「エネルギー業界は規制緩和、自由化の流れにより大競争時代を迎えている。一方でLPガスは、地震などの災害に強く、環境にも優しいクリーンなエネルギーとして重要性が認識され、次世代を担うエネルギーとして見直され始めている」と説明があった。

各組合より、抱える課題や営業方針等についての意見交換が行われ、専門家の小笠原氏は、今後の営業活動に必要とされることとして「①高齢化への対策、②点検を前提として機器を売らない、安心・安全を提供する“売らない営業”がテーマになる」と総括した。

## 「アフターコロナ時代の人材確保・定着セミナー」を開催

中央会では、コロナ禍以前より課題となっていた中小企業の人手不足や、コロナ禍で変化した採用活動や働き方に対応するために、労働環境整備、採用活動、インターンシップの3点から、人手不足に対応するアプローチを学ぶセミナーを開催した。

### 【第1回:労働環境整備】〔12月14日〕

テーマ:「DXのできる働き方改革 ~ウィズコロナ時代の新しい働き方~」

講師:税理士法人長尾会計 税理士 長尾博 氏

コロナ禍でニューノーマルな働き方が実施され、労働者の働き方に対する意識が変化している。DX(デジタルトランスフォーメーション)による働き方改革を行うことは、労働者に働きやすい環境を提供することで離職を防止するだけでなく、業務効率化による人手不足対策にもつながる。

長尾氏は、「DXは、働きやすい環境を整えるために非常に有効」、「業務の自動化を促進し、空いた時間をクリエイティブな仕事に振り分けることが重要。クリエイティブな仕事を行うことで、会社の可変能力を高め、社員のワークエンゲージメントを高めることができる」と説いた。

### 【第2回:採用活動】〔1月14日〕

テーマ:「中小企業におけるソーシャルリクルーティング~SNSを使った採用とオンライン企業説明会・オンライン面接の方法~」

講師:株式会社ジオコス 都梅まき 氏

コロナ禍で企業説明会や面接が制限されたことにより、FacebookやTwitter等のSNSを活用した採用活動(ソーシャルリクルーティング)が主流になっている

都梅氏は、「イマドキの学生は、コロナの影響で授業や就活の形式が今までとは異なり、オンライン授業、オンライン就活がメインとなっている。これから就活を始める世代である大学1、2年生は、特にその傾向が顕著」、「Twitterの活用は、経営者や社員が求職者と個々で繋がることができ、フランクな関係が構築できる」と説いた。

### 【第3回:インターンシップ】〔1月31日〕

テーマ:「中小企業のインターンシップ活用戦略」

講師:特定非営利活動法人G-net 代表理事 南田修司 氏

インターンシップは、企業と学生のミスマッチを防ぐ効果があり、人材確保・人材定着の観点からも有用性が高いと言われる。

南田氏は「インターンシップは学生を集めることだけを考えても上手くいかない」、「インターンシップを採用接点と考えるのを止め、若者に選ばれる企業変革へ挑める一手目と考える。組織体制、仕組み、風土を整えるためにインターンシップを活用する」と説いた。



第1回:長尾講師

## 『5年先、10年先の会社を考える』経営者、後継者のための事業承継セミナーを開催

中央会では、事業承継を「税務・法務の問題」と捉えるのではなく、経営を継続する「経営の問題」と捉え、経営者・後継者の事業承継に取り組む動機付けを目的に、全3回の事業承継セミナーをオンライン配信で開催した。

### 【第1回:経営者・後継者対象】〔1月27日〕

内容:「事業承継の考え方」

講師:ジャイロ総合コンサルティング株式会社 代表取締役社長 渋谷雄大 氏

渋谷氏は、「事業承継は相続と切り離して考える。事業承継で大切にしなければならないものは、「経営の承継」である」、「経営は直観や判断力が必要とされる。後継者は経営者の傍らで、先代の「商売の勘」を時間をかけて学ぶ必要がある」と説明した。



第1回:オンラインで登壇する渋谷講師

### 【第2回:後継者対象】〔2月7日〕

内容:「自社の経営把握」、「次世代経営者のリーダーシップ」

講師:ジャイロ総合コンサルティング株式会社 コンサルタント 高田佳昭 氏

高田氏は、「事業承継は、業績向上を目的に行う。そのためには、後継者の経営力が必要」、「会社の成功の秘訣として、環境変化に対応するスピードが速いこと、固定概念にとらわれない考え方、何より仕事を楽しんでいることが挙げられる」と説明した。

### 【第3回:経営者対象】〔2月14日〕

内容:「事業承継の進め方」、「後継者育成」

講師:ジャイロ総合コンサルティング株式会社 コンサルタント 高田佳昭 氏

高田氏は、「経営の承継で、重要なことは会社理念を引き継ぐことである。会社は理念に基づき事業を行い、理念とビジネスモデルは直結しているため、理念を引き継がないと、会社の価値や良さの全て壊してしまうことになる」、「後継者に自分のコピーを求めてはいけない。後継者がどのように会社に貢献できるか、自分と違ったやり方でも会社の価値につながることを大事」と説明した。

## 組合事務局スキルアップ講座(第4回:組合運営)を開催

中央会は、組合事務局職員を対象にした「組合事務局スキルアップ講座」全4回(4テーマ、「労務管理」、「組合会計」、「組合制度」、「組合運営」)の内、4回目となる組合運営を1月18日にホテルグランヴェール岐山及びオンライン配信により開催した。

中央会職員が講師を務め、「組合運営Q&A～よくある相談事例より～」をテーマに、「役員」・「総会」・「理事会」・「登記」・「加入、脱退」等について、組合からの質問が多い事項や間違えやすいポイントをQ&A方式で解説した。

来年度も組合事務局スキルアップ講座の開催を予定しています。希望するテーマ等ございましたら本会までお寄せ下さい。



スキルアップ講座の様子

## 事業継続力強化計画セミナーを開催

中央会は、東京海上日動火災保険(株)と共催で、コロナ禍における不測の事態に備え、企業の事業を継続するための事業継続力強化計画セミナーを2月9日にオンライン配信で開催した。

感染力の強い変異株の出現により感染者は急増し、併せて行動制限を受ける濃厚接触者が多数出ている。そのため、企業においては止む無く業務ができない従業員が出てくる可能性も大きくなってきており、企業経営へのリスクも大きくなっている。

講師に、中小企業基盤整備機構中部本部 中小企業アドバイザーの藤井健太郎氏を迎え、「コロナ禍における事業継続のために」をテーマに、事業継続力強化計画の制度概要と策定によるメリットを中心に説明があった。

岐阜県においては1月17日に決定された「第6波非常事態宣言」(県独自の非常事態宣言)において『BCP(事業継続計画)の徹底』を盛り込んでおり、未策定の場合は早急に策定するよう推奨しています。岐阜県HPに、新型コロナウイルス感染症対応BCP『簡易版 基本モデル(感染拡大期)』を作成し公開しておりますのでご確認ください。

【岐阜県HP(事業継続計画(BCP)について)】<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/8320.html>

## 「外国人技能実習制度適正化講習会(第2回)」を開催

中央会は、「外国人技能実習制度適正化事業」において、県内の外国人技能実習生受入組合を対象とした講習会を1月20日にホテルグランヴェール岐山及びオンライン配信で開催した。

講習会は2部構成で行われ、冒頭に岐阜県より情報提供があった後、第1部では、「岐阜県における特定技能外国人の受入れに関する状況について」をテーマに 名古屋出入国在留管理局就労審査第二部門 統括審査官の辻本葉子氏より説明があった。第2部では、「技能実習生等の受入に係る入国等制限措置の状況、今後の見通しと対応」をテーマに名古屋出入国在留管理局 留学・研修審査部門 統括審査官の渡邊啓氏より説明があった。



講習会の様子

## 組合青年部強化研修会を開催

中央会と青年中央会は、組合青年部の育成強化や資質向上を図ることを目的に、連携して様々な事業を行っている。

中央会と青年中央会の共催で、2月4日にホテルパークにおいて、「コミュニケーション・ストレス～『話を通じない』の正体～」をテーマとした組合青年部強化研修会を開催した。また、同研修会はオンラインにより同時配信を行った。

講師は、ベストセラー書籍『妻のトリセツ』著者、(株)感性リサーチ 代表取締役の黒川伊保子氏が務め、黒川氏は、男女の感性の違いや世代間のコミュニケーションギャップについて、円滑なコミュニケーションが図ることができない要因として脳科学の見地から解説した。



組合青年部強化研修会の様子

## 女性部等活動支援研修会を開催

中央会と中央会レディースクラブは、組合女性部活動の強化、女性経営者の育成のため、連携して様々な事業を行っている。

中央会と中央会レディースクラブは共催で、3月3日にホテルグランヴェール岐山において、「人材登用と能力発揮のための職場環境づくりの極意～女性の強みの活かし方・スキルの磨き方～」をテーマとした女性部等活動支援研修会を開催した。また、同研修会はオンラインにより同時配信を行った。

講師は、(株)カメラ代表取締役の佐野由美子氏が務め、「女性は、“自信”がつけば本来の実力が発揮できる。自信をつけるためには、勉強し、プロ意識を持って、自分が輝ける環境を整備するための努力をすることが大切。良い仕事をするには、十分な能力を発揮するための“良い職場環境”が必要」と解説した。



佐野講師

## G-Club ビジネス商談会をハイブリッド形式で開催

「ものづくり補助金」に取り組んだ事業者で構成する「ぎふものづくり連携倶楽部（G-Club）」を運営する中央会は、2月15日に、岐阜市文化センターで、ものづくり補助金に取り組んだ事業者の新規取引先の開拓・受注拡大を図るため、全国各地から集まった発注企業（バイヤー）との商談会を開催した。

本商談会には83社（発注企業35社、受注企業（ものづくり補助事業者）48社）が参加し、昨年の88件を上回る108件の商談を行った。従来の対面形式による商談手法に加え、新型コロナウイルスの感染リスクを無くし、遠方からも参加しやすい“オンライン手法”を取り入れたハイブリッド形式で実施し、参加したものづくり補助事業者は、自社の技術や売り込みたい製品をバイヤーにPRした。

参加者からは「今後の取引に繋がりそうな話ができただけ」、「期待していた以上に面談企業から情報をいただけた」、「従来の営業活動では知り合えない企業と繋がることができて有意義だった」といった声が多く寄せられた。



商談会の様子

## 組合等活動

### オリジナルキャラクター「奥美濃カレー妖怪」制作

奥美濃カレー協同組合（簗哲朗理事長）

奥美濃カレー協同組合は、1月22日のカレーの日に、奥美濃のご当地カレーが美味しく化けた妖怪キャラクター「奥美濃カレー妖怪」を発表した。妖怪は全6体で、組合員店舗ごとの特徴によって様々な姿かたちをしている。

当組合では、地域団体商標登録「奥美濃カレー」を取得し、各組合員の店舗ではそれぞれ工夫を凝らしたメニューを開発し、各店オリジナルの奥美濃カレーを提供している。奥美濃カレーは、「郡上味噌」を隠し味にした濃厚で深みある味わいのカレーである。

キャラクター制作にあたっては全国中央会助成事業「取引力強化推進事業」を活用した。

事務局の後藤氏は、「『奥美濃カレー妖怪』の認知を広げることで、さらに奥美濃カレーを提供できる店舗を増やし、地域活性化に取り組みたい」と思いを語った。



奥美濃カレー妖怪

### 各組合がインボイス制度対策セミナーを開催

岐阜県室内装飾事業協同組合、養老町水道設備協同組合、赤帽岐阜県軽自動車運送協同組合、岐阜県牛乳事業協同組合、協同組合岐阜市土産品協会、岐阜県中古自動車販売商工組合、協同組合土岐美濃焼卸センターの7組合が、中央会の諸制度改正に伴う専門家派遣事業及び組合等支援事業を活用して、インボイス制度対策セミナーを開催した。

適格請求書等保存方式（インボイス制度）は、複数税率に対応した消費税の仕入税額控除の方式として令和5年10月1日より導入される。インボイスを交付する事業者となるには、事前の登録申請が必要で、令和3年10月1日より登録申請の受付は開始されている。

セミナー参加者からは、「制度自体をあまり理解していなかったので、よい機会になった」、「税のことを軽く考えすぎていた。重要な制度であるため他の組合員にも情報を波及したい」、「自社だけの問題ではなく、取引先への説明が必要なが分かった」といった声が寄せられた。



講習会の様子  
（赤帽岐阜県軽自動車運送（協）対象）

#### 事業環境変化対応型支援事業 インボイス制度に係る専門家派遣事業のご案内

中央会では、インボイス制度の組合・中小事業者等への周知及び相談に応じるため、無料の専門家派遣を行っております。ご要望に応じて組合等での講習会開催や専門家派遣等が可能です。お気軽に問合せください。

■費用：無料（専門家派遣にかかる謝金、旅費、会場費等を中央会が負担します）

※予算がなくなり次第終了します。

■対象：岐阜県内の中小企業組合等、組合員である中小企業

■相談内容：インボイス制度に関すること（インボイス制度対応に必要なデジタル化対応を含む。）

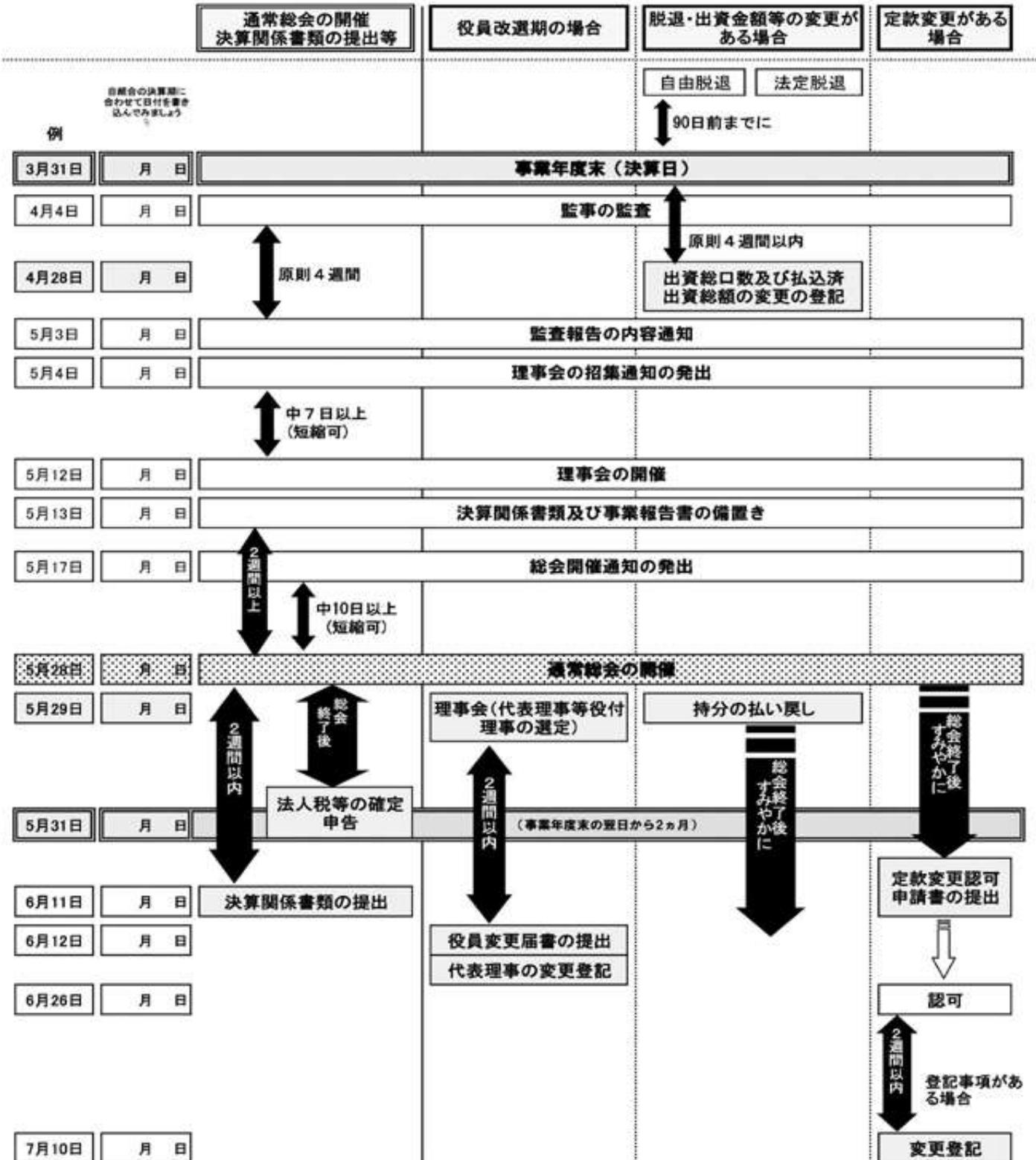
# 組合決算期の各種事務手続き

多数の組合が年度末を迎える時期となりました。各種事務手続きの参考にしてください。

- 組合は通常総会の終了後2週間以内に「決算関係書類」を、役員に変更のあった日から2週間以内に「役員変更届書」を所管行政庁に提出しなければなりません。総会後には代表理事の変更登記等が発生する場合があります。
- 本会ホームページ「組合事務マニュアル」で法に則した様式例を掲載しています。
- 決算関係書類は中央会を経由（郵送又は持参）して所管行政庁に提出できますので本会にご提出をお願い致します。

※中小企業組合の通常総会の中協法第46条（総会の招集）により規定され、法律上必置の意思決定機関であり、不要不急の行為には該当しないため、外出自粛要請下においても開催する必要があります。

(例) 決算期を3月31日、定款の規定により事業年度終了後2カ月以内に通常総会を開催する場合





# 景況レポート

令和4年  
2月末調査  
(前年同月比)

中小企業団体情報連絡員70名  
の情報連絡票から

## (I) 2月の特色

### ◆景況感DI値マイナス39

前月比マイナス8ポイントと2カ月連続の悪化

### ◆製造業景況感DI値が12ポイント悪化

10ポイント台への悪化は1年10カ月ぶり

～原材料・燃料価格の高騰が先行き不安を高め景況感の悪化に繋がった～

### ◆先月に続き、まん延防止等重点措置による営業制限や外出自粛の影響が響いた

## (II) 2月の概況

当月の景気動向を前年同月比の景況感DI値で見ると、好転2、悪化41で、DI値はマイナス39となり、前月のDI値マイナス31に対し、8ポイントの悪化となった。

業種別の景気動向を前年同月比の景況感DI値で見ると、製造業のDI値はマイナス31となり、前月比12ポイントの悪化、非製造業のDI値はマイナス47となり、前月比3ポイントの悪化となった。

なお、回答のあった70業種のうち、前月調査より景況感が改善したとする業種は、製造業においては0業種(前月比-5業種)であり、悪化したとする業種は、米菓、紙加工品、プラスチック、鋳物の4業種(前月比-1業種)であった。

また、非製造業において改善したとする業種は、中古自動車販売、鉄構造物の2業種(前月比±0業種)であった。悪化したとする業種は、水産物商業、共同店舗(飛騨)、室内装飾の3業種(前月比-8業種)であった。

主要な調査項目を見ていくと、売上高DI値はマイナス19で前月比8ポイントの悪化、販売価格DI値はプラス7で前月比7ポイントの改善、収益状況DI値はマイナス36で前月比6ポイントの改善、資金繰りDI値はマイナス19で前月比

1ポイントの悪化、雇用人員DI値はマイナス13で前月比3ポイントの悪化となった。

コメントを見ると、プラスの内容について、製造業では、「量販店向け家庭用食器の生産は好調に推移している。雑貨品の売上は巣ごもり需要により好調である。(陶磁器(工業))」、といった内容が報告された。

一方で、マイナスのコメントが多数報告されており、製造業では、「人流抑制のため買い物客が減少し、景況は悪化している。このままでは従業員の人件費を削減しなければならず、雇用の維持が厳しい状態になってきている。(婦人・子供服)」、「段ボール資材の値上げ実施が具体的に決定し、早急に概ね15%前後の値上げ交渉を進めなければ会社の存続に関わる。(紙加工品)」、「原材料価格についても天井が見えず、更なる採算悪化を覚悟せざるを得ない。(プラスチック)」、「可児工業団地の中小企業エリアの景況感を表すDI値は2カ月振りに悪化に転じた。オミクロン株の広がりによる人手不足や原材料価格の高騰、部品の調達難などマイナス要因が多く厳しい状況となっている。(可児工業団地)」といった内容が報告された。

非製造業では、「まん延防止等重点措置の延長により経済の見通しが悪くなり、さらに買い控えが起こるため、小売業界としてはこの状態が今後も続くと思える店も増えてくる懸念がある。(共同店舗(飛騨))」、「商店街でも感染により休店するところも出てきた。1月に引続きまん延防止等重点措置の適用により飲食店が時短営業や休業を行ったため、人出は減少したままで、非常に厳しい状況である。(大垣市商店街)」、「軽油価格高騰が止まらず、政府の補助5円を投じて値上がりは続いている。売上減少は各社輸送効率化等の工夫をするが、燃料高騰は吸収できず限界を超えてきている。長距離輸送は特に窮地にある。(貨物運送(岐阜地区))」といった内容が報告された。

## <主な調査項目での動向>

2月次景況	
項目	DI値
景況	-39 (-8)
売上高	-19 (-8)
販売価格	7 (7)
収益状況	-36 (6)
資金繰り	-19 (-1)
雇用人員	-13 (-3)

カッコ内は前月比増減ポイント

### 【売上高の動向】

売上高DI値マイナス19、前月比8ポイントの悪化。

売上高が増加した業種は15業種(前月比-4業種)であり、特に木材・木製品、鉄鋼・金属、卸売業、運輸業の区分が多かった。

売上高が減少した業種は28業種(前月比+1業種)であり、製造業の牛乳、食肉(国産)、米菓、製麺、合成繊維織物、メンズアパレル、

木、紙加工品、印刷、タイル、石灰、金型と、非製造業の水産物商業、共同店舗(飛騨)、岐阜市商店街、大垣市商店街、高山市商店街、長良川畔旅館、高山旅館、クリーニング、旅行業、理容・美容業、土木(岐阜地区)、土木(飛騨地区)、建築設計、電気工事、室内装飾、貸植木業である。

### 【販売価格の動向】

販売価格DI値プラス7、前月比7ポイントの改善。

販売価格が上昇した業種は10業種(前月比+2業種)であり、製造業の銘木、東濃ひのき、陶磁器(工業)と、非製造業の水産物商業、中古自動車販売、石油製品販売、生花販売、大垣市商店街、鉄構造物、電気工事である。

販売価格が低下した業種は5業種(前月比-3業種)であった。

### 【収益状況の動向】

収益状況DI値はマイナス36、前月比6ポイントの改善。

収益状況が好転した業種は4業種(前月比±0業種)であり、製造業の東濃ひのき、機械すき和紙、陶磁器(工業)と、非製造業の軽運送業である。

収益状況が悪化した業種は29業種(前月比-4業種)であり、特に食料品、商店街の区分が多かった。

### 【資金繰りの動向】

資金繰りDI値はマイナス19、前月比1ポイントの悪化。

資金繰りが好転した業種は1業種(前月比-1業種)であった。

資金繰りが悪化した業種は14業種(前月比±0業種)であり、製造業の製麺、婦人・子供服、輸送用機器と、非製造業の中古自動車販売、石油製品販売、岐阜市商店街、大垣市商店街、高山市商店街、長良川畔旅館、高山旅館、クリーニング、旅行業、建築設計、貸植木業である。

### 【雇用人員の動向】

雇用人員DI値はマイナス13、前月比3ポイントの悪化。

雇用人員が増加した業種は4業種(前月比+1業種)であり、特に卸売業、建設業の区分が多かった。

雇用人員が減少した業種は13業種(前月比+3業種)であり、製造業のニット工業、婦人・子供服、東濃ひのき、特殊紙、陶磁器(工業)、輸送用機器と、非製造業の中古自動車販売、共同店舗(飛騨)、高山市商店街、長良川畔旅館、高山旅館、クリーニング、理容・美容業である。



# 県内中小企業

(2月末調査)

## 主要業種の景気動向

製 造 業		前年同月比						
区 分	業 種	調査項目	売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
食料品	牛乳		▲	△	△	△	△	△
	食肉(国産)		▲	△	▲	△	△	▲
	菓子		○	△	▲	△	△	▲
	米		▲	△	▲	△	△	▲
	製麺		▲	△	▲	▲	△	▲
繊維・同製品	擦糸		△	△	△	△	△	△
	ニット工業物		△	△	△	△	▲	△
	毛織物		△	△	△	△	△	△
	合成繊維織物		▲	△	▲	△	△	▲
	メンズアパレル		▲	△	△	△	△	△
木材・木製品	製材		△	△	△	△	△	△
	銘木		▲	○	▲	△	△	△
紙紙加工品	機械すき和紙		○	△	○	△	○	△
	特殊紙		△	△	△	△	▲	▲
印刷	紙加工品		▲	△	△	△	△	▲
化学ゴム	印刷		▲	△	▲	△	△	▲
窯業・土石	プラスチック		○	△	▲	△	△	▲
	陶磁器(工業)		○	○	○	○	▲	○
	タイル		▲	△	▲	△	△	▲
	窯業原料		△	△	△	△	△	△
	石灰		▲	▲	▲	△	△	▲
	生コンクリート		△	△	△	△	△	△
鉄鋼・金属	砂利生産		△	△	△	△	△	△
	砕石生産		○	△	△	△	△	△
	鋳物		△	△	△	△	△	△
	刃物等金属製品(輸出)		○	△	△	△	△	○
一般機械	刃物等金属製品(内需)		△	△	△	△	△	△
	メッキ		○	△	▲	△	△	△
	県金属工業団地		△	△	▲	△	△	△
輸送用機器	可児工業団地		△	△	△	△	△	△
	金型		▲	△	△	△	△	△
輸送用機器	輸送用機器		△	△	▲	▲	▲	△

非製造業		前年同月比							
区 分	業 種	調査項目	売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感	
卸売業	電設資材卸		△	△	△	△	△	▲	
	陶磁器産地卸		△	△	△	△	△	△	
	機械・工具販売		○	△	△	△	○	▲	
小売業	青果販売		△	△	△	△	△	△	
	水産物商業		▲	○	▲	△	△	▲	
	家電機器販売		△	△	△	△	△	△	
	メガネ販売		△	△	△	△	△	△	
	中古自動車販売		△	○	△	▲	▲	△	
	石油製品販売		○	○	▲	▲	△	▲	
	共同店舗(飛騨)		▲	△	▲	△	▲	▲	
	生花販売		○	○	△	△	○	△	
商店街	岐阜市商店街		▲	△	▲	▲	△	▲	
	大垣市商店街		▲	○	▲	▲	△	▲	
	高山市商店街		▲	△	▲	▲	▲	▲	
サービス業	自動車車体整備		△	△	△	△	△	▲	
	長良川畔旅館		▲	▲	▲	▲	▲	▲	
	下呂温泉旅館		○	△	△	△	△	△	
	高山旅館		▲	▲	▲	▲	▲	▲	
	クリーニング		▲	△	▲	▲	▲	▲	
	広告美術		△	△	△	△	△	△	
	旅行業		▲	△	▲	▲	△	▲	
	理容・美容業		▲	△	△	△	▲	△	
	建設業	土木(岐阜地区)		▲	△	△	△	△	△
		土木(飛騨地区)		▲	△	△	△	△	△
建築設計			▲	▲	▲	▲	△	▲	
鉄構造物			△	○	△	△	△	△	
電気工事			▲	○	▲	△	△	▲	
管設備工事			△	△	△	△	△	△	
建築板金			△	△	△	△	△	△	
室内装飾			▲	△	△	△	△	▲	
運輸業	木造建築		△	△	△	△	○	△	
	貨物運送(岐阜地区)		△	△	▲	△	△	△	
	軽運送		○	△	○	△	△	△	
その他の非製造業	貸植木業		▲	△	▲	▲	△	△	

凡例 ○: [増加]、[上昇]、[好転]  
 △: [不変]  
 ▲: [減少]、[下降]、[悪化]

全国の先進組合事例を収集した「先進組合事例抄録（令和2年度組合資料収集加工事業報告書）」より抜粋して紹介します。先進組合事例抄録は過去のものを含め全国中央会のホームページ上で「組合事例検索システム」で公開していますのでぜひご活用ください。 「組合事例検索システム」<http://jirei.chuokai.or.jp/newjirei/>

## 第一精密工業協同組合 連携事業継続力強化計画の策定及び市との災害協定締結

主な業種	製造業等				
住所	長野県諏訪市大字中洲4771番地				
URL	<a href="http://www.alps.or.jp/daiichi/index.html">http://www.alps.or.jp/daiichi/index.html</a>				
設立	昭和33年11月	組合員	21人	出資金	86,390千円

**■ 背景・目的** .....  
令和元年10月、台風19号の日本列島上陸による記録的な大雨により、長野県長野市では千曲川の堤防が決壊、5千世帯以上が浸水する等、甚大な被害を受けた。事務局長は報道等を通じ災害の凄惨な被害を目の当たりにしたことで、「諏訪地域も他人事ではない」と感じ、災害対策の具体的な方法について日々模索していた。

**■ 取り組みの手法と内容** .....  
中央会の事業継続力強化計画に関する情報提供をきっかけとし、事務局長主導で組合内全体会議にて同制度の概要・認定取得のメリット等をプレゼン。組合員より承諾を得て、計画策定作業に入った。  
計画策定にあたっては、全組合員を計画の構成員とする「連携」型を採用した。計画の内容には組合内だけでなく、外部との連携も盛り込まれており、中央会、諏訪市、商工会議所、各金融機関等に出向き、主に金融面の協力を依頼した。実際に地震・台風・風水害・液状化現象等の被害が発生した場合、各組合員企業において資金需要の発生が

見込まれるためである。  
また、令和2年6月には新型コロナウイルスの蔓延の状況を鑑みて、組合員企業内における感染症クラスター発生の可能性と対策等を盛り込んだ計画内容への変更申請を行った。認定後は、組合員、協力機関全てに計画変更の書類の写しを配布し、情報共有と連携を図った。  
さらに、令和2年10月7日には、計画の中で諏訪市との相互協力体制を構築していたことがきっかけとなり、諏訪市と災害時における協力協定を締結した。この協定により、当組合は災害時に市と連携し、近隣住民の避難場所として組合員の建物屋内や駐車場等を提供することとなった。市との連携強化という点において、大変重要な協定締結となった。

**■ 成果とその要因** .....  
組合内外を巻き込んだ計画の策定を行ったことで、組合内のみならず計画に参画する外部組織の災害対策の意識醸成につながった。  
同計画の策定がきっかけとなり、市との災害協力協定の締結にまで至り、協定調印式の様子が報道機関等に取り上げられたことで、他組合が同計画を認知、策定を検討する機会を提供できたのではと思う。

**① キーファクター**  
事務局長の熱意によって組合内の合意形成、外部との協力体制の構築がなされた。移転活用のためには組合の計画策定に関するハードルを下げられる支援を行うことが重要。

## ～イベントの活性化、組合運営のヒントに～

## 組合イベント情報紹介

このコーナーでは、今後、組合が主催するイベントや組合が参加するイベントの情報を紹介し、イベント等の活性化や他の組合の運営のヒントに繋がります。

### 岐阜電気工事協同組合

#### 電気工事士おしごと体験ワークショップ

岐阜電気工事協同組合では、業界PRを目的に、ショッピングセンター「モレラ岐阜」（本巣市）で、電気工事士のお仕事体験ワークショップを実施します。

ワークショップでは、組合員である電気工事士が講師となって懐中電灯工作キットを用いて、電気工事士という職業や電気の仕組み等をお伝えします。

春休み期間に、親子でワークショップに是非ご参加ください。



ワークショップの様子  
(キッズタウンぎふ出展時)

**日時** 3月28日(月)・29日(火) 11時～16時

**会場** モレラ岐阜1Fホワイトプラザ（本巣市三橋1100）

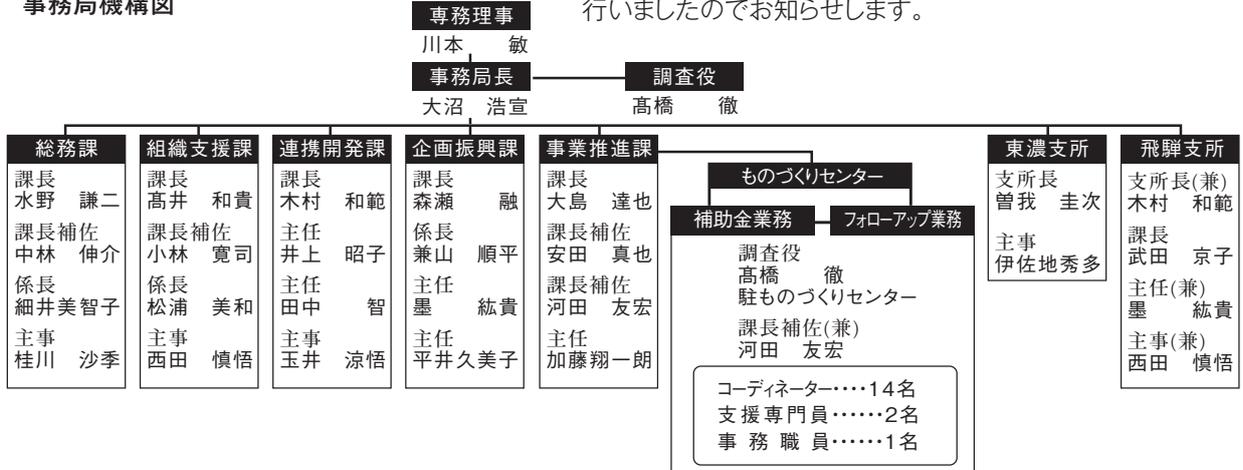
●内容：「電気の仕組みを学ぶ懐中電灯づくり」※完成まで40分程度

●参加：無料/小学生以下を対象 ※当日受付(予約不要)

問い合わせ先:岐阜電気工事協同組合 TEL058-263-6010

## 中央会の人事異動のお知らせ

### 事務局機構図



## 中央会日誌

### (1月20日~3月19日)

#### 【中央会事業】

1月20日	外国人技能実習制度適正化講習会
1月26日	業種別情報交換会
1月27日・2月7日・14日	事業承継セミナー
1月31日	アフターコロナ時代の人材確保・定着セミナー
2月 4日	組合青年部強化研修会
2月 9日	事業継続力強化計画セミナー
2月15日	G-Club ビジネス商談会
3月 3日	女性部等活動支援研修会
3月15日	高度外国人材活用セミナー
3月18日	青中講習会

#### 組合等チャレンジサポート事業

1月27日・2月14日・3月16日	岐阜県長川温泉旅館協同組合
2月 2日・9日	白川町ワグドット協同組合
3月 9日	岐阜県眼鏡商業協同組合
3月10日	岐阜県電気工業工業組合

#### 組合等活動支援事業

2月 3日	協同組合土岐美濃焼卸センター
2月 6日	岐阜県自動車車体整備協同組合
2月 8日	岐阜県舞台設備管理事業協同組合

#### 諸制度改正に伴う専門家派遣事業

1月21日	協同組合岐阜市土産品協会
-------	--------------

#### 【出席会議等】

1月20日	岐阜県新型コロナウイルス感染症対策協議会・対策本部本部員会議
1月29日	岐阜県新型コロナウイルス感染症対策協議会・対策本部本部員会議
2月 8日	岐阜県新型コロナウイルス感染症対策に関する経済・雇用再生会議
2月10日	岐阜県新型コロナウイルス感染症対策協議会・対策本部本部員会議
2月17日	岐阜県最低賃金審議会
2月28日	岐阜県(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構運営協議会
3月 2日	岐阜県中小企業再生支援協議会 全体会議
3月 3日	岐阜県新型コロナウイルス感染症対策協議会・対策本部本部員会議
3月 4日	岐阜県サイバーセキュリティ連携会議
3月 8日	岐阜県職業能力開発協会理事会
3月 9日	岐阜県地域訓練協議会 岐阜県地方労働審議会
3月15日	岐阜県新型コロナウイルス感染症対策協議会・対策本部本部員会議

## 職員コラム

中央会職員が交代で、徒然なるままに綴ります。



総務課  
桂川 沙季

学生の頃に「カーサブルータス」という雑誌を読んでいた時期がありました。その中の建築関連の記事を読んだ際、とあるコンクリートでできた楕円形の建物を見て、こんな形の建物もできることを知り、衝撃を受けました。それから雑誌やインターネットで建物を見ていくうちに、「安藤忠雄」という建築家に出会いました。実際に足を運んだこともありましたが、その方が設計した建物は、国内に留まらず海外にも存在するため、全てを見るには時間とお金がかかりそうです。

自分が見に行った中で、いくつか好きな場所がありますが、中でも「教会三部作」と称される『水の教会(北海道)』・『光の教会(大阪府)』・『風の教会(兵庫県)』が特に好みます。それぞれ見た時間帯は異なりますが、普段訪れることのない教会という場所であることも含めて、光の入り具合やコンクリートの滑らかさ、現地に行ってみないと感じられない、そんな空間があります。日本人に限らず外国の方も多く来ており、幅広い人が興味を持っているのだと感じました。

新型コロナウイルス感染症の蔓延で、これまでのような県境をまたぐ移動は難しく、ここ数年遠方へは行けていません。建物を見に行くことだけに限らず、「現美新幹線」(上越新幹線越後湯沢(新潟駅間)の運行終了など、遠方こそ先に行っておくべきだったと今更ながらに後悔しています。また県外に気軽に移動することができるようになったときには、思うまま現地に足を運びたいです。

## 中央会の新事業紹介

岐阜県中央会では、岐阜県からの補助事業として、令和4年4月1日から相談窓口の開設など、下記の新たな支援事業がスタートします。



### ◆自動車産業EV化対応事業のご案内



今後、世界的なEV化への動きが加速する中で、エンジン部品などの需要減少が見込まれるサプライヤーに対し、現状の課題や将来への悩み、EV化対応計画策定に向けた相談対応、そして新技術の開発や設備投資を補助する施策等の情報提供など、県内の自動車関連部品メーカー等のEV化対応、事業再構築等をバックアップします。

(対象) 県内の自動車関連中小事業者

(事業内容)

- ・専門家による相談窓口の開設 (平日9:00~17:00) ※予約制
- ・訪問相談によるEV化対応計画等の策定支援(専門家による訪問相談対応)
- ・補助金など各種施策情報等の提供(国・県等、関係機関とのネットワークを活用)
- ・業界の最新動向等をテーマとしたセミナーの開催

【お問合せ窓口】 組織支援課 TEL 058-277-1102(担当:高井、小林)

### ◆バックオフィス業務等におけるDX導入に係る支援のご案内



中小企業・小規模事業者にとって収益力アップを図るためには、業務の効率化や生産性の向上が重要テーマであり、業務のデジタル化やDXの推進が鍵となります。

そこで、DXへのファーストステップとして、全ての企業に存在し、経営に直結するバックオフィス業務(経理、総務、人事・労務、在庫管理など)のデジタル化について、クラウドサービスの利用やIT導入補助金の活用などをアドバイスする支援事業を実施します。

(事業内容)

- ・専門家による相談窓口の開設 (平日9:00~17:00) ※予約制
- ・組合及び組合員向けの啓発セミナーと個別相談会の開催
- ・訪問相談による導入計画の策定支援(専門家による訪問相談対応)
- ・導入計画に基づくクラウドサービス等の導入支援
- ・IT導入補助金の活用等に対する支援や導入後のフォロー

【お問合せ窓口】 事業推進課 TEL 058-277-1101(担当:大島、安田)  
相談窓口 TEL 058-277-1104(専用ダイヤル)